

THE SAISON FOUNDATION

公益財団法人セゾン文化財団

セゾン・アーティスト・イン・レジデンス、ヴィジティング・フェローの紹介

セゾン・アーティスト・イン・レジデンスでは、インドのアーメダバードを拠点に活動するパフォーマンス・アーティストのアヴニー・セティ氏をお迎えいたします。

アヴニー・セティ氏はさまざまなダンスの表現形式を学んだのち、特に暴力・記憶・空間・身体といった事柄に焦点をあてた領域横断的なパフォーマンス実践をおこなっています。また、2013年にはアーメダバードに「Conflictorium (Museum of Conflict)」を設立。その運営を通じて紛争や分断に創造的な方法で橋を架けることを目指してきました。2023年に同館の芸術監督を退任し、現在は実験的なパフォーマンスのためのスタジオ「Ordo Performance Collaboratory」の運営を手掛けています。

2020年には「Jane Lombard Prize for Art and Social Justice 2020-2022」を受賞、2024年にはプリンス・クラウス基金「IMPACT Award」の審査員に任命されるなど、その活動は国際的にも高く評価されています。

今回の来日では、現代の過剰で暴力的な状況に対抗し得る身体言語である「economical movement」を開発するヒントとするために、特に「歩行」に焦点をあて、舞踏および舞踏から派生したダンスやパフォーマンスの実践についてリサーチをおこないたいとお考えです。

滞在期間中、本テーマに基づいて日本の舞台芸術の状況や背景などを理解していただくため、舞台芸術関係者との交流を予定しております。ご協力をよろしくお願い申し上げます。

- 滞在テーマ Finding 'economical movement' through the influence of Butoh on contemporary moving bodies.
- 滞在期間 2025年1月31日(金)―3月3日(月)
- 滞在场所 森下スタジオ(東京都江東区森下 3-5-6)

※ 2025年2月5日(水)に、森下スタジオにてトークを開催する予定です。
詳細はウェブサイトで発表します。



アヴニー・セティ / Avni Sethi (インド)

パフォーマンス・アーティスト

信仰にまつわる伝統や、対立するナラティブの場から着想を得たパフォーマンスを展開。観客とパフォーマンスする身体との親密な関係性を探求し続けてきた。「暴力の文化がどのように身体に刻み込まれ、動きや姿勢、表情を形作るのか」という点に、特に関心を持ち、ダンスを通じてこれらの痕跡を探求するとともに、身体が葛藤と回復を物語るができる空間の創出を目指す。

これまでに「Conflictorium (Museum of Conflict : www.conflictorium.org)」と「Ordo Performance Collaboratory」を設立。「Mehnat Manzil: Museum of Work」の共同設立者でもある。